REC News Letter

Ryukoku Extension Center ニューズレター

You, Unlimited

龍谷大学 RYUKOKU UNIVERSITY

No. 126 発行日：2017年11月25日

ご報告 産官学連携の取り組みとして「ものづくり・商業・サービス革新『滋賀県』成果事例発表会」を開催しました！

11 月 6 日（月）、クサツエストピアホテルにて滋賀県中小企業団体中央会（以下、中央会）主催、本学共催の「ものづくり・商業・サービス革新『滋賀県』成果事例発表会」（平成 28 年度補正 革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金）を開催しました。本学産官学連携事業の一環として行った同発表会には、企業や関係機関など 100 名近くの参加者が集まりました。

成果事例発表会では、成果事例として 3 社の「事例発表」と REC 産学連携コーディネータによる「成果紹介」を以下のとおり行いました。パネル展示では、県内 30 事業者の成果事例紹介を行い、参加者は成果事例や研究シーズパネルを前に熱心に質問し、活発な情報交換がなされていました。

最後に、「ものづくり産官学連携事業に携わって」と題して、堀川武 REC 顧問自身が事業者への取材活動や産学連携に携わった経験をもとに、過去 5 年間のものづくり補助金の状況を丁寧に整理したうえで本事業全般の総括を行いました。

今後も REC では、中央会との連携協定に基づき、滋賀県内の中小企業支援に取り組んでいく予定です。

〈事例紹介〉

1：LED ヘッドライト用金型の製造技術
　近畿精工株式会社 代表取締役　畑澤 康弘 氏

2：自転車競技用ジャージの無縫製化
　株式会社ファイバー 代表取締役　磯嶋 裕之 氏

3：先進的外科手術用脊椎ガイド試作、座標軸シミュレーションソフト開発
　株式会社 ACTY Power 代表取締役　国松 利和 氏



ご報告 「第 14 回 同志社大学×龍谷大学ジョイントセミナー」を開催しました！

11 月 17 日（金）、「第 14 回 同志社大学×龍谷大学ジョイントセミナー in ヒルトンプラザウエスト」を本学大阪梅田キャンパスにて開催しました。セミナーには大阪地域を中心に 80 名近くの参加者が集り、盛況のうちに終えることができました。

同志社大学と本学は、ものづくり企業が集積する「クリエイション・コア東大阪」の支援拠点である『MOBIO（ものづくりビジネスセンター大阪）』の産学連携オフィスに共同入居している関係から、毎年ジョイントセミナーを開催しており、第 14 回目を迎える今回は“マーケティング”をテーマに、MOBIO から本学大阪梅田キャンパスに会場を移しての開催となりました。企業からの基調講演、両大学による社文系の研究シーズ紹介を熱心に聴かれる様子がうかがえ、講演会後の名刺交換会では、3 名の講師を囲んで名刺交換や情報交換が行われました。

企業講演「捨てる“みかんの皮”から新たな“価値”を創造する」
　株式会社早和果樹園取締役専務 秋竹 俊伸氏

大学講演①「レゴ®やアートも使って学ぶ：農学連携みかんプロジェクトの裏側」
　本学経営学部経営学科 藤岡 章子教授

大学講演②「産学連携における商品開発の利点－丸亀製麺や京都の伝統産業との取り組みを通じて－」
　同志社大学商学部商学科 髙橋 広行准教授



お知らせ ビジネスプランコンテスト「プレゼン龍（ドラゴン）2017」を開催します！！

12 月 2 日（土）、学生ベンチャー育成事業として、ビジネスプランコンテスト「プレゼン龍（ドラゴン）」を開催します。書類審査と予選（プレゼン面接）を通過した 6 チームが、本選でプレゼンテーションバトルを繰り広げます。また、高校生を対象にした「第 12 回ビジネスアイデアコンテストーあったらいいなー」には、全国から 826 件の応募があり、同日に最優秀賞に選ばれた高校生への発表と表彰式を行います。

現在、当日会場にお越しいただくオーディエンスを募集しています。ゼミ活動等を通じて、先生方から学生への周知をお願いいたします。

※詳細はホームページをご覧ください。
→http://rec.seta.ryukoku.ac.jp/info/presendragon/

「プレゼン龍 2017」本選
日時：12 月 2 日（土）13：00～17：00 ［受付開始 12：30］
会場：深草キャンパス 22 号館 302 教室

ご報告　大学の地域貢献度ランキングで本学が全国 25 位！

大学が教育や研究などの機能を通じて地域社会に貢献している度合いを調査する「地域貢献度調査（日本経済新聞社）」の結果、本学が過去最高位の全国 25 位（私大では総合 6 位）にランキングされました。

今年度は、質問項目や配点が見直され、制度・組織の整備より具体的な活動内容を重視した調査が行われました。こうした中において、本学が過去最高位にランキングされたことは、本学がこれまでから各分野で地域貢献度の高い活動を継続的に実施してきたことが評価された結果であると言えます。

今後も REC では地域貢献に係る様々な活動を支援し、地域に根ざした大学づくりに寄与できるよう事業を推進してまいります。

ご報告　「第9回印南かえるのフェスティバル」に参加しました！

11 月 19 日（日）、本学が地域連携協定を締結している和歌山県日高郡印南町の地域交流イベント「第9回印南かえるのフェスティバル」に参加しました。印南町とは、「龍谷ソーラーパーク」の設置を縁として 2014 年に連携協定を締結して以来、毎年、本フェスティバルに本学の野外活動部を派遣しています。このイベントでは、主に子どもたちを対象とした工作ブースを出展しており、当日は小雨がぱらつく天気にもかかわらず、100 名を超える子どもたちがブースを訪れ、今年度の企画「かえるロケット」を熱心に作りました。また、本学マスコットキャラクターのロンちゃん、ロン君も会場をねり歩き、ゆるキャラ劇に出演するなど地元の祭りを大いに盛り上げてくれました。



参加した学生からは、“人の温かさに感激した”“地元食材のおいしさに感動”“また観光に来たい”などの感想が聞かれ、今回の印南町訪問によって、若者が地域に注目する良いきっかけになったと思います。これからも REC では 1 人でも多くの学生が地域デビューし、地域の魅力に気付くような取り組みを行ってまいります。

ご報告　第 5 回　REC BIZ-NET 研究会「機械、構造物の疲労強度改善・評価と新素材利用の新展開」を開催しました！

10 月 26 日（木）、龍谷大学瀬田キャンパスにて、2017 年度 第 5 回 REC BIZ-NET 研究会「機械、構造物の疲労強度改善・評価と新素材利用の新展開」を開催しました。

今回の研究会では、前半に溶接鋼構造物の疲労強度改善の研究状況や、残留応力測定技術と活用事例の紹介、後半では複合材料として期待されている耐熱 FRP 用ポリイミド樹脂と、その応用例としてのジェットエンジンの圧縮機ブレードの開発事例を紹介しました。参加者からは講演を熱心に聴かれる様子がうかがえ、終了後には、4 名の講師を囲んで名刺交換や情報交換が行われました。REC では、本研究会にご参加いただいた皆さまとの出会いを大切にし、今後も活動をおこなってまいります。

1「溶接鋼構造物の疲労強度改善に向けた研究状況」
　本学理工学部機械システム工学科　誉田　登教授
2「ここまで簡単！誰でもできる残留応力測定～評価技術と活用事例～」
　パルステック工業株式会社 X 線応用装置課　丸山　洋一氏
3「耐熱 FRP 用ポリイミド樹脂と RTM 成形による複合材ブレード」
　株式会社 IST 研究開発本部第二基礎研究技師　大庭　圭一郎氏
4「耐熱 FRP を用いたジェットエンジンの圧縮機ブレードの開発」
　本学理工学部　機械システム工学科　辻上　哲也教授



お知らせ　12 月の REC の活動

12 月 2 日（土）龍谷ジュニアキャンパス「野球教室」〈瀬田キャンパス〉
12 月 2 日（土）REC コミュニティカレッジ東京「『源氏物語』の人間関係」〈明治大学駿河台キャンパス〉
12 月 2 日（土）ビジネスプランコンテスト「プレゼン龍（ドラゴン）2017」〈深草キャンパス〉
12 月 5 日（火）魅力ある中小企業経営者と龍谷大学生との交流会〈瀬田キャンパス〉
12 月 6 日（水）お茶の淹れ方教室〈瀬田キャンパス〉
12 月 6 日～8 日　滋賀県大津市連携企画事業　大津産「こまつな」、「みずかがみ」を使用した「こまつな丼」を REC レストランにて提供〈瀬田キャンパス〉
12 月 15 日（金）第 6 回 REC BIZ-NET 研究会「地域特産物を用いた農業の高度化と 6 次化」〈瀬田キャンパス〉
12 月 16 日（土）龍谷ジュニアキャンパス「サッカー教室」〈南大日グラウンド〉

龍谷大学
RYUKOKU UNIVERSITY

REC News Letter
No.126

REC News Letter は毎月発行。
次回は 12 月 20 日頃発行します。
※バックナンバーは龍谷大学 HP→教職員向けサイト
→REC 京都サイトをご覧ください。

編集・発行：REC 事務部
http://rec.seta.ryukoku.ac.jp/

●REC 滋賀　REC ホール　（内線 7744）
●REC 京都　紫光館 5 階　（内線 6560）
●REC 東大阪　クリエイション・コア東大阪
　産学連携オフィス 2212 号（06-6748-8228）